

令和 7 年
火災・救急・救助概要

宝塚市消防本部

目 次

I 火災の概要

1	火災の発生状況	1
2	火災覚知種別の状況	4
3	火災の覚知から現場到着までの所要時間	4
4	初期消火状況	5
5	署所別火災発生状況	5
6	月別・時間別火災発生状況	6
7	出火原因	7
8	火災発生件数の推移	8
9	その他の出動状況	8
10	防災出動状況	9

II 救急の概要

1	救急事故種別出動状況	10
2	傷病程度別搬送状況	11
3	署所別出動状況	12
4	医療機関別搬送状況	13
5	年齢区分別搬送状況	14
6	月別・曜日別出動状況	15
7	救急出動件数の推移	16

III 救助の概要

1	救助事故種別出動状況	17
2	発生場所別活動件数・救助人員状況	18
3	建物内生存者確認による出動状況	19

I 火災の概要

1 火災の発生状況

(1) 火災件数

令和7年中の火災の発生状況は表－1・2・3のとおりで、総件数は32件発生し、前年と比べ6件増加しています。

火災種別ごとでは、建物火災は21件で前年と比べ7件増加、林野火災は0件で前年と同数、車両火災は4件で前年と比べ3件減少、その他の火災は7件で前年と比べ2件増加しています。

(2) 焼損棟数・焼損面積

焼損棟数は23棟で前年と比べ9件増加しています。焼損棟数の内訳は、全焼が2棟、半焼が1棟、部分焼が6棟、ぼやが14棟です。

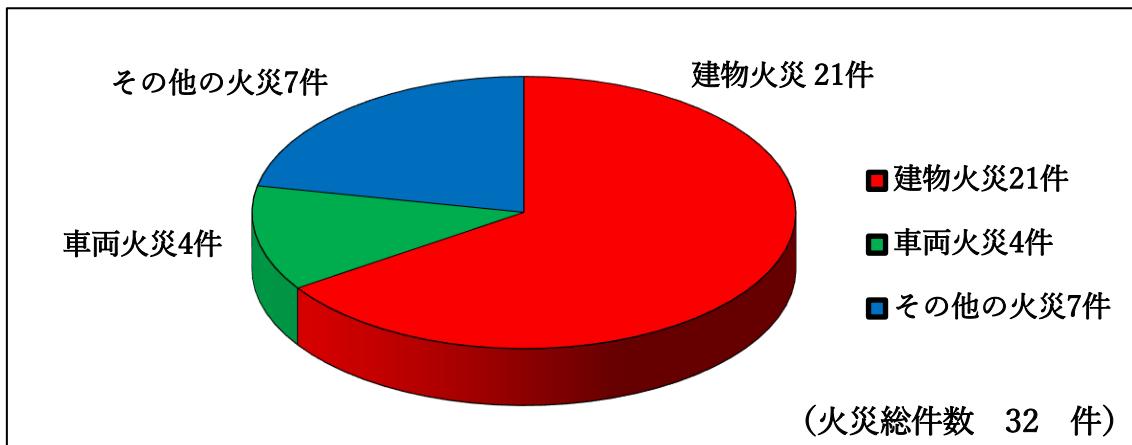
建物の焼損床面積は231平方メートルで前年と比べ177平方メートル増加。建物の焼損表面積は21平方メートルで前年と比べ7平方メートル減少しています。

車両火災の焼損台数は9台で前年と比べ2台増加しています。

(3) 死傷者

令和7年中の死者は2名で前年と比べ2名増加。負傷者は5名で前年と3名減少しています。

表－1 【火災種別件数】



表－2

【前年との対比1】

区分		単位	令和7年 (A)	令和6年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)
火災種別	出火件数	件	32	26	6
	建物		21	14	7
	林野		0	0	0
	車両		4	7	△3
	その他		7	5	2
焼損棟数	合計	棟	23	14	9
	全焼		2	0	2
	半焼		1	1	0
	部分焼		6	2	4
	ぼや		14	11	3
	爆発損害棟数		0	0	0
焼損面積	建物床面積	m ²	231	54	177
	建物表面積	m ²	21	28	△7
	林野	a	0	0	0
	車両	台	9	7	2
り災世帯数	合計	世帯	23	11	12
	全損		4	0	4
	半損		1	0	1
	小損		18	11	7
り災人員		人	47	15	32

※ 令和7年数値は概算値を含んでおり、確定値ではありません。

※ △は、減少を示します。

表－3 【前年との対比2】

区分		単位	令和7年 (A)	令和6年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)
死者			2	0	2
負傷者	30日死者	人	0	0	0
	重症		0	3	△3
	中等症		3	2	1
	軽症		2	3	△1
	出動合計		152	144	8
車両	消防署	台	152	144	8
	消防団		0	0	0
人員	出動合計	人	545	504	41
	消防署		545	504	41
	消防団		0	0	0
建物火災	建物焼損面積	m ²	12.0	6.0	6.0
	焼損棟数	棟	1.1	1.0	0.1
	り災世帯	世帯	1.1	0.8	0.3
	り災人員	人	2.2	1.1	1.1
林野火災	焼損面積	a	0.0	0.0	0.0
一件当たり					
出火率		件	1.46	1.17	0.29

(注) ※ 火災による負傷後48時間以内に死亡したものは火災による死者とし、負傷者のうちで火災

に起因する原因により48時間を経過して30日以内に死亡した者を「30日死者」とします。

※ 出火率は、人口1万人当たりの出火件数を表します。

$$\text{出火率(件)} = \text{出火件数} \div \text{人口} \times 10,000$$

※ 令和7年数値は概算値を含んでおり、確定値ではありません。

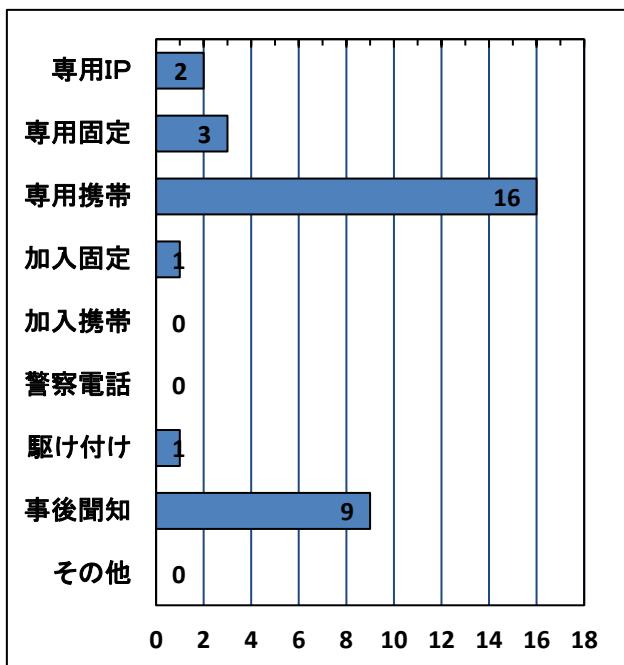
※ △は減少を示します。

※ 令和7年12月1日現在、推計人口 219,623人

2 火災覚知種別の状況

令和7年中、火災を覚知する種別が最も多かったのは、表－4のとおり携帯電話からの119番通報で16件でした。

表－4 【火災覚知種別状況】



- 専用IP⇒固定電話(NTT加入電話を除く)からの119番通報
- 専用固定⇒固定電話(NTT加入電話)からの119番通報
- 専用携帯⇒携帯電話からの119番通報
- 加入固定⇒固定電話からの消防本部固定局への通報
- 加入携帯⇒携帯電話からの消防本部固定局への通報
- 警察電話⇒警察専用回線からの通報
- 駆け付け⇒駆け付けによる通報
- 事後聞知⇒火災が消えた後に通報
- その他⇒上記以外の通報

3 火災の覚知から現場到着までの所要時間

令和7年中に発生した32件の火災から、事後聞知の火災9件を除いた23件の火災について、119番通報を受信してから、出動、現場到着までに要した時間の平均値は表－5のとおりです。

表－5 【所要時間の平均値】

区分	覚知～出動	出動～現着	覚知～現着
全市域	1分13秒	5分07秒	6分20秒

※ 覚知とは、消防機関が火災等の災害を認知することを言います。

4 初期消火状況

令和7年中に発生した32件の火災のうち、初期消火が行われたのは、表-6のとおり20件で、そのうち初期消火に成功した件数は16件でした。

表-6 【初期消火の実施件数】

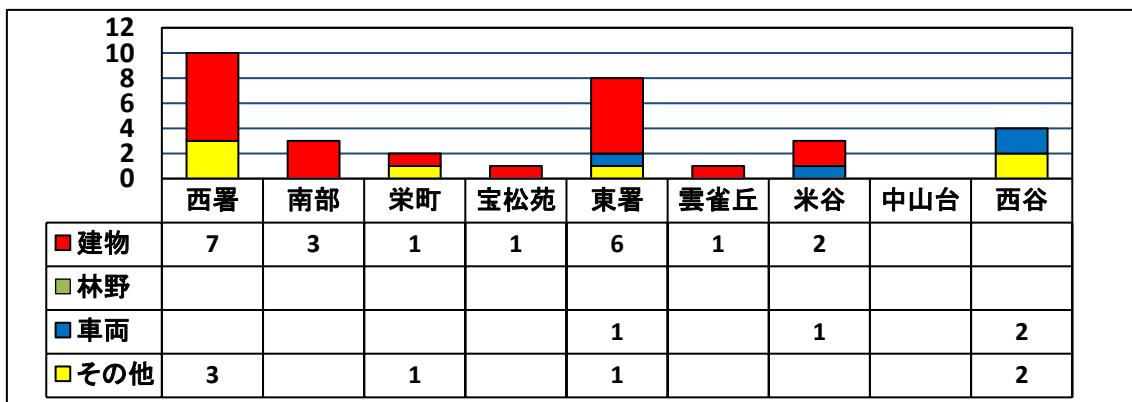
初期消火実施件数 消火種別	合 計 【20件】	建 物 【14件】	林 野 【0件】	車 両 【3件】	そ の 他 【3件】
水 バ ケ ツ	0 (0)				
屋 内 消 火 栓 設 備	1 (1)	1 (1)			
粉 末 消 火 器	5 (4)	1 (1)		3 (2)	1 (1)
水道、浴槽、汲み置き等 の 水 を か け た	11 (8)	9 (7)			2 (1)
寝 具 、 衣 類 等 を か け た	2 (2)	2 (2)			
も み 消 し た	1 (1)	1 (1)			
そ の 他	0 (0)				
合 計	20 (16)	14 (12)	0 (0)	3 (2)	3 (2)

()内の数字は、初期消火に成功した件数を表します。

5 署所別火災発生状況

各署所の管轄、受持地区内で発生した火災件数は表-7のとおりで、西署管内が最も多く10件発生しています。

表-7 【署所別火災発生件数】



6 月別・時間別火災発生状況

月別の火災発生状況は、表-8のとおりで、4月、6月が5件と最も多く、時間別で見ると、18時から21時の時間帯に9件と最も多く発生しています。

表-8 【月別・時間別火災発生件数】

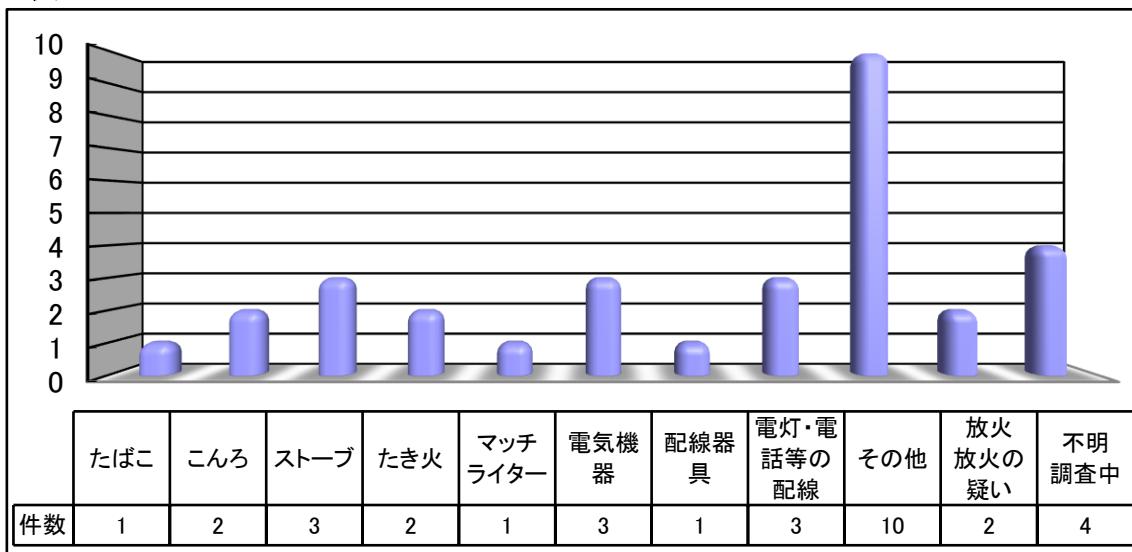
区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建 物	4	1	2	3	1	4	2	1	2		1		21
林 野													0
車 両				2					1			1	4
その他		1			1	1		1		1		2	7
計	4	2	2	5	2	5	2	2	3	1	1	3	32
0 ~ 1												0	0
1 ~ 2												0	
2 ~ 3												0	
3 ~ 4												0	0
4 ~ 5												0	
5 ~ 6												0	
6 ~ 7												0	2
7 ~ 8						1						1	
8 ~ 9							1					1	
9 ~ 10	1			1				2				4	6
10 ~ 11											1	1	
11 ~ 12		1										1	
12 ~ 13												0	6
13 ~ 14	1										1	2	
14 ~ 15		1	1			1	1					4	
15 ~ 16	1			1		1						3	5
16 ~ 17					1							1	
17 ~ 18				1								1	
18 ~ 19	1									1		2	9
19 ~ 20				1	1	1		1				4	
20 ~ 21			1					1		1		3	
21 ~ 22									1		1	2	3
22 ~ 23						1						1	
23 ~ 24												0	
不 明				1							1	1	

7 出火原因

出火原因別では、表－9のとおり、ストーブ、電気機器及び電灯・電話等の配線が最も多く、それぞれ3件。次いでこんろ、たき火及び放火・放火の疑いがそれぞれ2件となっています。また、その他の中には、電気装置、灯火、炉、焼却炉などが含まれています。

表－9

【出火原因別火災件数】



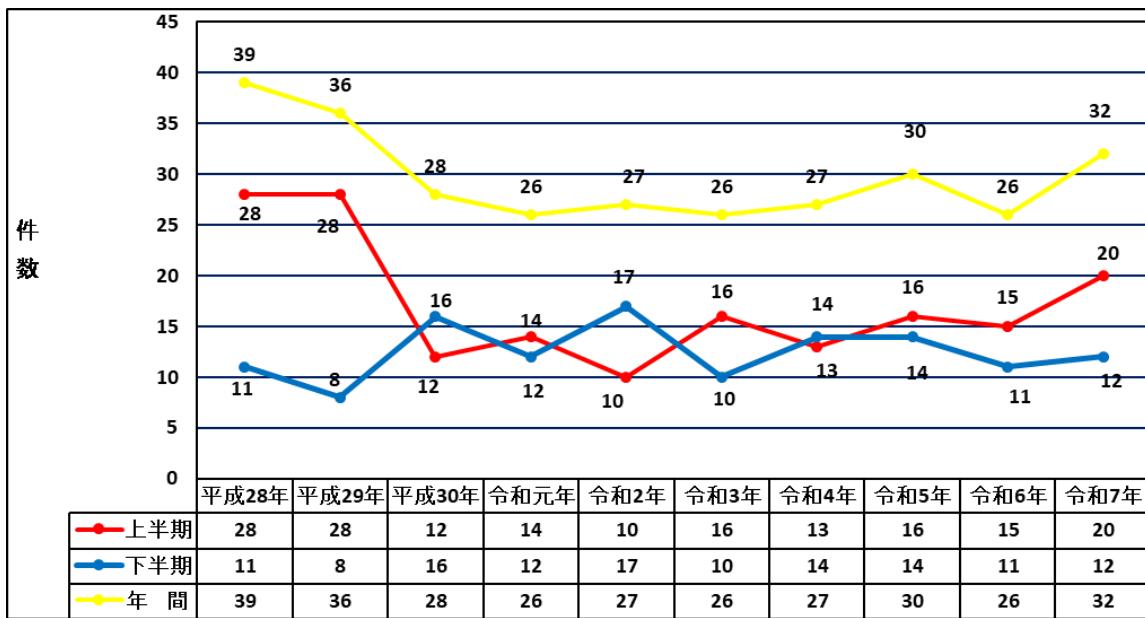
【火災種別毎の出火原因件数】

出火原因	合計	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災
たばこ	1				1
こんろ	2	2			
ストーブ	3	3			
たき火	2				2
マッチ・ライター	1	1			
電気機器	3	2		1	
配線器具	1	1			
電灯・電話等の配線	3	2			1
その他の	10	6		3	1
放火・放火の疑い	2	1			1
不明・調査中	4	3			1
合計	32	21	0	4	7

8 火災発生件数の推移（過去10年間）

過去10年間の発生の推移は表－11のとおりで、年間件数平均値は29.7件となっています。

表－11 【火災発生件数の推移（過去10年間）】



9 その他の出動状況

火災以外のその他の災害出動状況は、表－12のとおり888件（前年1,059件）出動し、これは1日に約2.4件の割合で出動したことになります。

表－12 【その他の災害出動件数】

区分	合計	火災に至らず	誤報誤認虚報	警戒	油流出	ガス漏洩	特定救急	自火報	他市応援	捜索	その他
出動件数	888	18	21	284	28	2	409	91	33	1	1
出動台数	1,074	69	141	285	30	2	410	91	42	3	1
出動人員	4,212	246	497	1,146	121	8	1,654	366	160	10	4

※ 特定救急とは、救急現場に救急車と消防車が同時出動する事案です。

10 防災出動状況

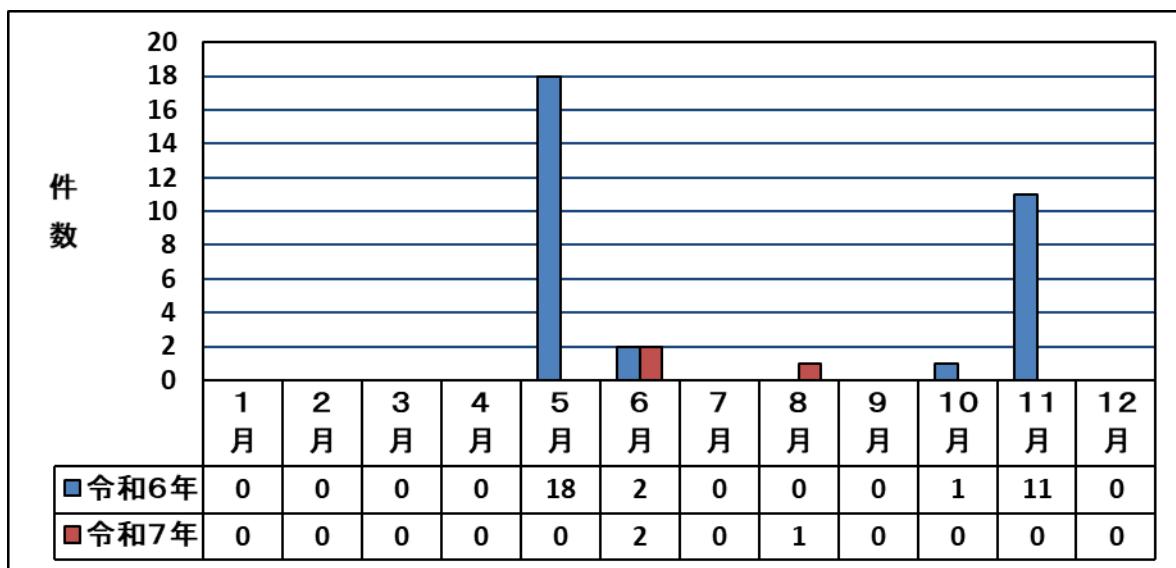
風雨等による災害の出動状況は、表－13のとおり3件（前年32件）出動し、前年より29件減少しています。

表－13 【防災出動件数】

区分		令和7年 (A)	令和6年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)
風水害	出動件数	3	8	△5
	出動台数	4	10	△6
	出動人員	13	37	△24
警戒巡回	出動件数	0	24	△24
	出動台数	0	26	△26
	出動人員	0	104	△104
合計	出動件数	3	32	△29
	出動台数	4	36	△32
	出動人員	13	141	△128

※ 警戒巡回とは、災害警戒本部または災害対策本部が設置されており、かつ、時間雨量又は連続雨量が規定値を超えた場合に、水害危険予想箇所等の巡回を行うことを言います。風水害とは、風雨等に伴う出動で警戒巡回以外の出動のことを言います。

表－14 【月別防災出動件数】



II 救急の概要

1 救急事故種別出動状況

令和7年中の救急出動件数は13,507件で、前年より490件減少しました。

1日平均37.0件の割合で救急出動したことになります。事故種別では、急病、一般負傷、交通事故が全体の90.3%を占め、特に急病は、64.6%を占めています。

表－1 【前年との対比】

区分	令和7年 A	令和6年 B	増減 A - B = C
出場件数	13,507	13,997	△ 490
傷病者搬送件数	11,978	12,388	△ 410
不搬送件数	1,529	1,609	△ 80
火災	22	14	8
自然災害	1	0	1
水難	1	2	△ 1
交通通	633	691	△ 58
労働災害	91	58	33
運動競技	47	56	△ 9
一般負傷	2,842	2,800	42
加害	32	24	8
自損行為	78	115	△ 37
急病	8,724	9,187	△ 463
転院搬送	847	818	29
医師搬送	20	27	△ 7
医療資器材	0	0	0
その他	169	205	△ 36
1日平均	37.0	38.3	△ 1.3
覚知～現場到着	8分25秒	8分51秒	△ 26秒
覚知～病院到着	36分27秒	37分49秒	△ 1分22秒

※ △は、減少を示します。

2 傷病程度別搬送状況

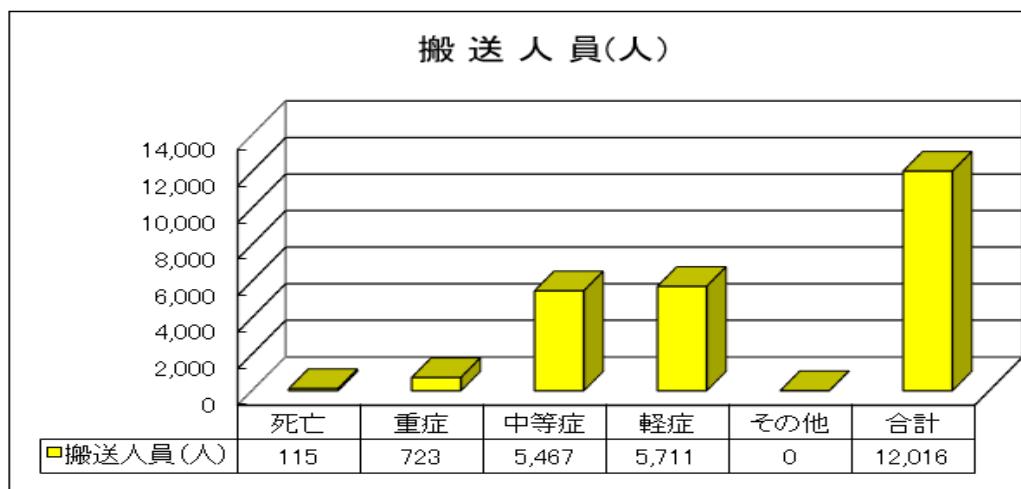
令和7年中の搬送人員は12,016人で、前年の12,437人に比べ、421人減少しました。市民18.3人に1人が救急車で運ばれたことになります。事故種別では急病搬送人員が最も多く、2番目に多いのは一般負傷となりました。傷病程度別では、死亡、重症、中等症の傷病者の割合は52.5%、入院の必要なしと診断された軽症の傷病者は47.5%を占めています。

表－2－1 【前年との対比】

区分	令和7年 A	令和6年 B	増減 $A - B = C$	傷病程度					合計
				死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	
搬送人員	12,016	12,437	△ 421	115	723	5,467	5,711	0	12,016
火災	5	8	△ 3	1	0	3	1	0	5
自然災害	1	0	1	0	0	1	0	0	1
水難	1	1	0	0	1	0	0	0	1
交通	567	620	△ 53	1	20	119	427	0	567
労働災害	84	56	28	0	3	35	46	0	84
運動競技	46	52	△ 6	0	1	10	35	0	46
一般負傷	2,569	2,550	19	10	148	861	1,550	0	2,569
加害	22	19	3	0	0	4	18	0	22
自損行為	54	71	△ 17	7	7	18	22	0	54
急病	7,815	8,240	△ 425	95	424	3,773	3,523	0	7,815
その他	852	820	32	1	119	643	89	0	852

※ 傷病程度欄のその他は、医療機関に収容目的でヘリコプター中継地点に搬送した事案です。

表－2－2 【傷病程度別搬送人員】



3 署所別出動状況

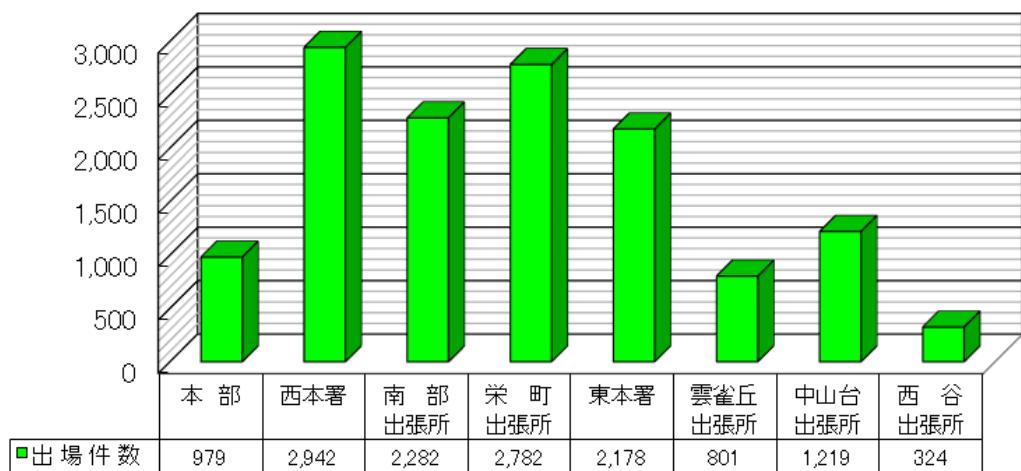
総出動件数 13,507 件のうち、表-3-1 のとおり、本部（機動救急隊）が 979 件（7.2%）、西消防署（南部出張所、栄町出張所含む）が 8,006 件（59.3%）、東消防署（雲雀丘出張所、中山台出張所、西谷出張所含む）が 4,522 件（33.5%）出動しています。

表-3-1 【署所別出動件数1】

区分	合計	本部	西 消 防 署				東消防署			
			小計	本署	南部 出張所	栄町 出張所	小計	本署	雲雀丘 出張所	中山台 出張所
出場件数(件)	13,507	979	8,006	2,942	2,282	2,782	4,522	2,178	801	1,219
構成比(%)	100.0	7.2	59.3	21.8	16.9	20.6	33.5	16.1	5.9	9.0
1日平均(件)	37.0	2.7	21.9	8.1	6.3	7.6	12.4	6.0	2.2	3.3
1ヶ月平均(件)	1125.6	81.6	667.2	245.2	190.2	231.8	376.8	181.5	66.8	101.6
										27.0

表-3-2 【署所別出動件数2】

出動件数



4 医療機関別搬送状況

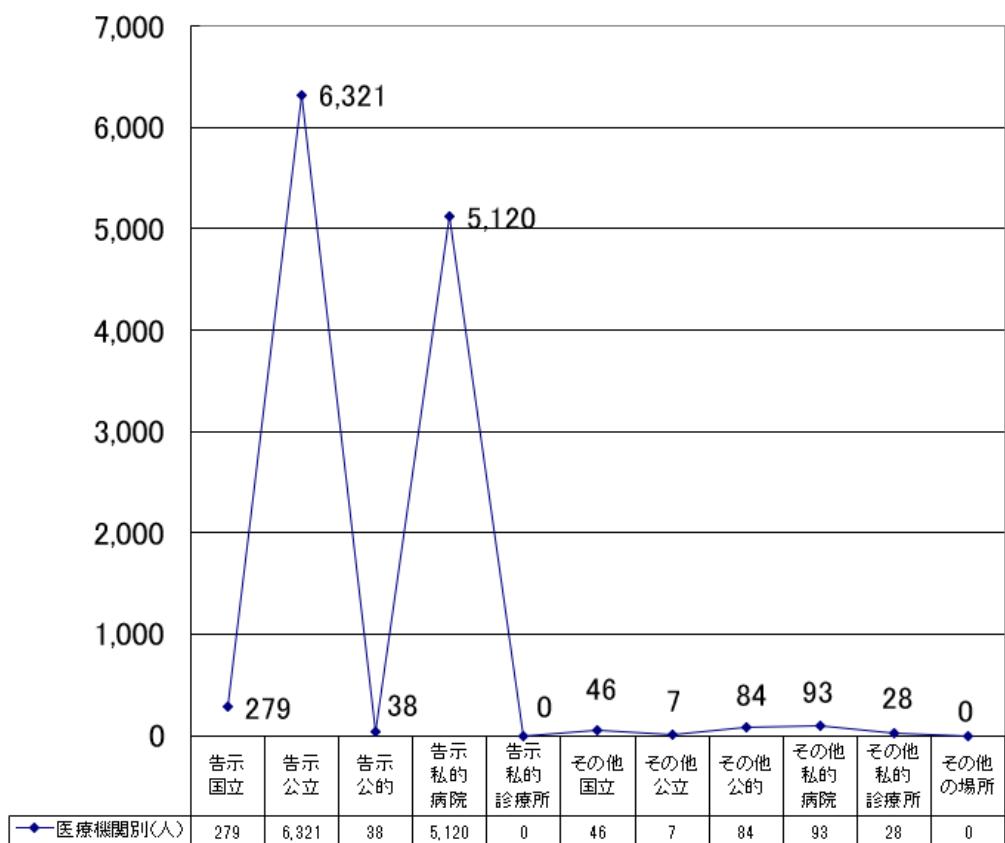
搬送状況を収容医療機関別に区分すると、表－4－1のとおり、搬送人員の97.9%を占める11,758人が救急告示病院に搬送され、258人がその他の医療機関に搬送されました。また、市内の救急告示病院への搬送人員は8,644人で全体の71.9%を占め、その他の医療機関を含めると8,667人となり市内へは72.1%が搬送されたことになります。

表－4－1 【医療機関別搬送状況1】

区分	救急告示医療機関					その他の医療機関					合計 (人)			
	国立	公立	公的	私的		計	国立	公立	公的	私的				
				病院	診療所					病院	診療所			
立	立	的				立	立	的				計		
市内	0	4,451	0	4,193	0	8,644	0	0	0	1	22	23	0	8,667
市外	279	1,870	38	927	0	3,114	46	7	84	92	6	235	0	3,349
合計	279	6,321	38	5,120	0	11,758	46	7	84	93	28	258	0	12,016

※ その他の場所は医療機関に収容目的でヘリコプター中継地点に搬送した事案です。

表－4－2 【医療機関別搬送状況2】



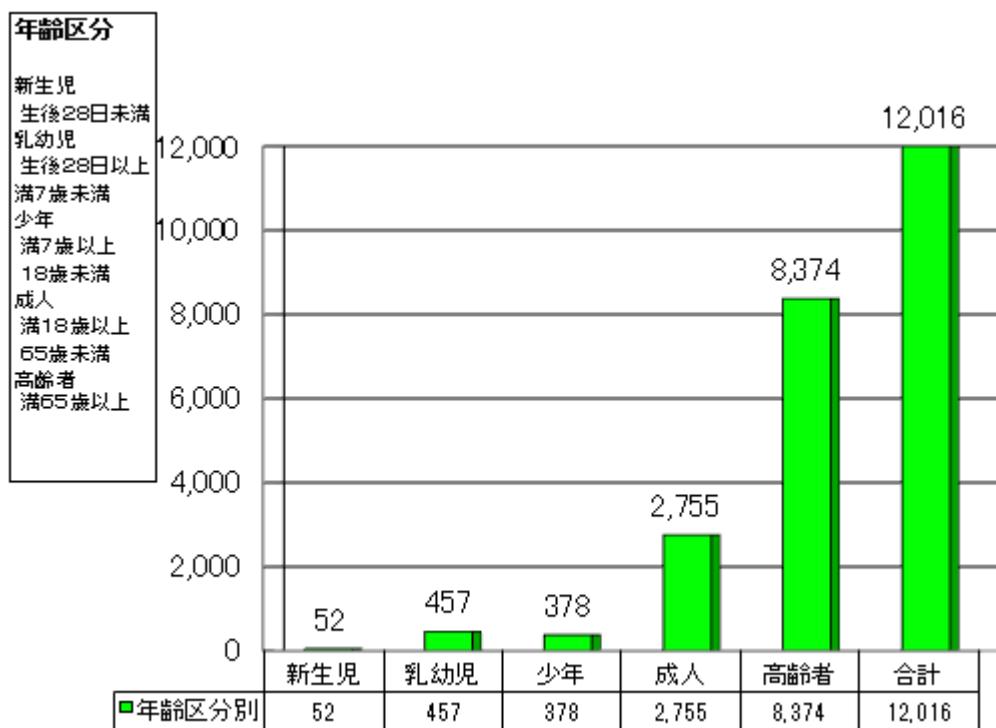
5 年齢区分別搬送状況

年齢区分別にみると、表－5－1のとおり、新生児52人（0.4%）、乳幼児457人（3.8%）、少年378人（3.1%）、成人2,755人（22.9%）、高齢者が8,374人（69.7%）となっています。高齢者の搬送割合が高く、高齢者の急病は5,505人で、高齢者全体の搬送のうち65.7%を占めます。

表－5－1 【年齢区分別搬送状況1】

区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その 他	合 計
新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	48	52
乳幼児	0	0	0	13	0	0	122	0	0	303	19	457
少年	0	0	0	44	2	24	78	5	7	209	9	378
成人	2	0	0	328	57	22	294	12	37	1,794	209	2,755
高齢者	3	1	1	182	25	0	2,075	5	10	5,505	567	8,374
合 計	5	1	1	567	84	46	2,569	22	54	7,815	852	12,016

表－5－2 【年齢区分別搬送状況2】

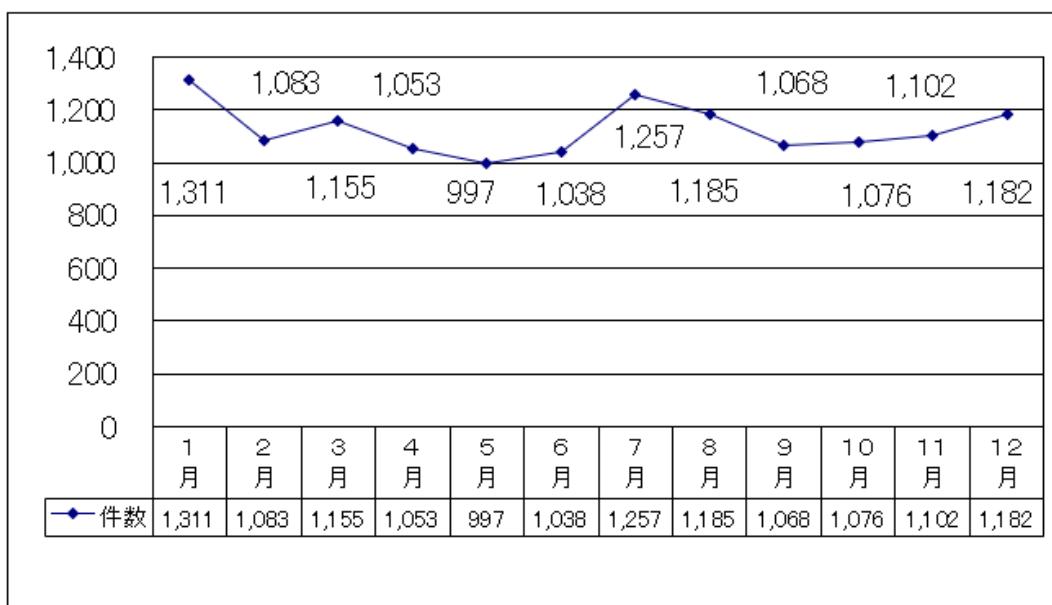


6 月別・曜日別出動状況

月別出動件数は、表－6－1のとおり、1月が1,300件、7月が1,200件を超えました。

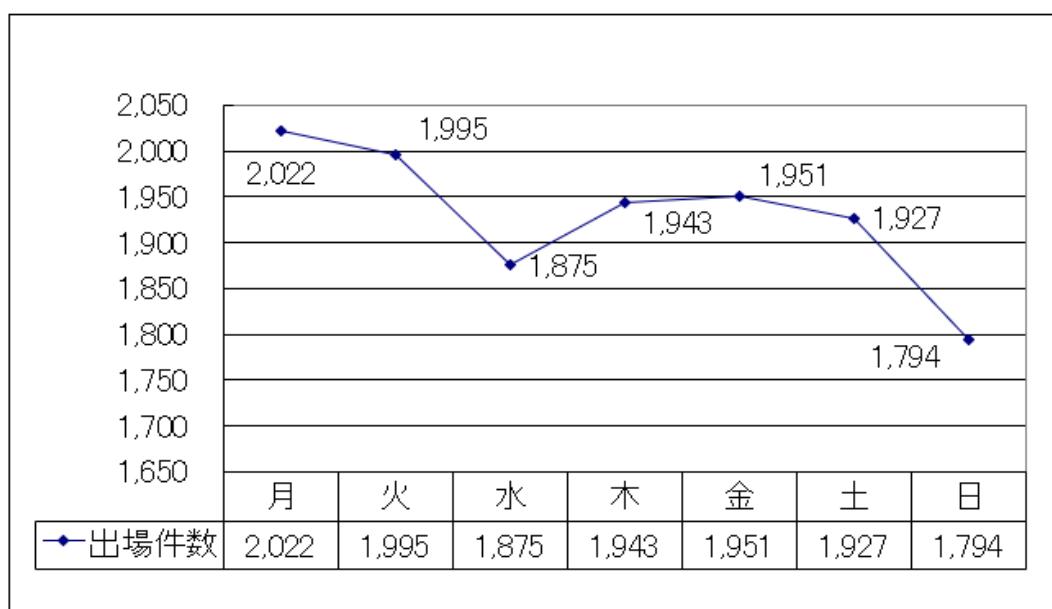
表－6－1

【月別出動件数】



表－6－2

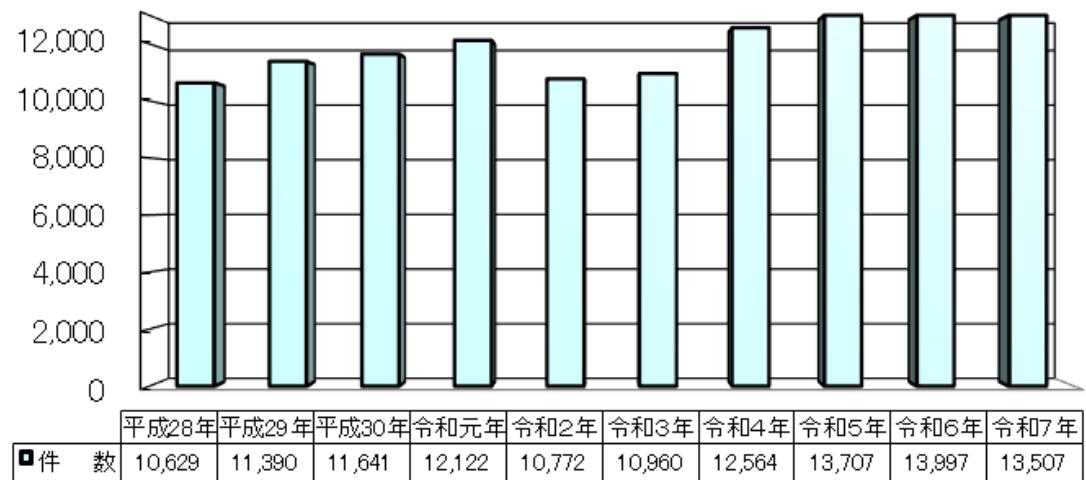
【曜日別出動件数】



7 救急出動件数の推移

過去10年間の推移をみると、救急出動件数は増加傾向で令和元年は12,000件を超えたが、令和2年の新型コロナウイルス感染症流行以降、救急出動件数は減少傾向となりました。新型コロナウイルス感染症が収束し始めた令和4年以降は毎年過去最多を更新しておりましたが、令和7年は13,507件と490件減少しました。

表－7－1 【救急出動件数の推移(過去の10年間)】



救急出動件数の多くを占める、急病、交通事故、一般負傷の過去10年間の推移は、表－7－2のとおりです。

表－7－2 【急病・交通事故・一般負傷の出動件数(過去10年間)】

	急病	交通	一般	その他
平成28年	6,829	755	1,891	1,154
平成29年	7,196	823	2,077	1,294
平成30年	7,420	772	2,137	1,312
令和元年	7,805	695	2,287	1,335
令和2年	6,321	538	1,980	1,933
令和3年	7,111	597	2,114	1,138
令和4年	8,373	593	2,450	1,148
令和5年	9,070	630	2,631	1,376
令和6年	9,187	691	2,800	1,319
令和7年	8,724	633	2,842	1,308

III 救助の概要

1 救助事故種別出動状況

令和7年中の救助出動状況は表－1－1及び表－1－2のとおりです。

救助件数は327件で前年に比べ1件減少、救助活動件数は269件で前年より1件増加、救助人員は210名で8名減少しました。

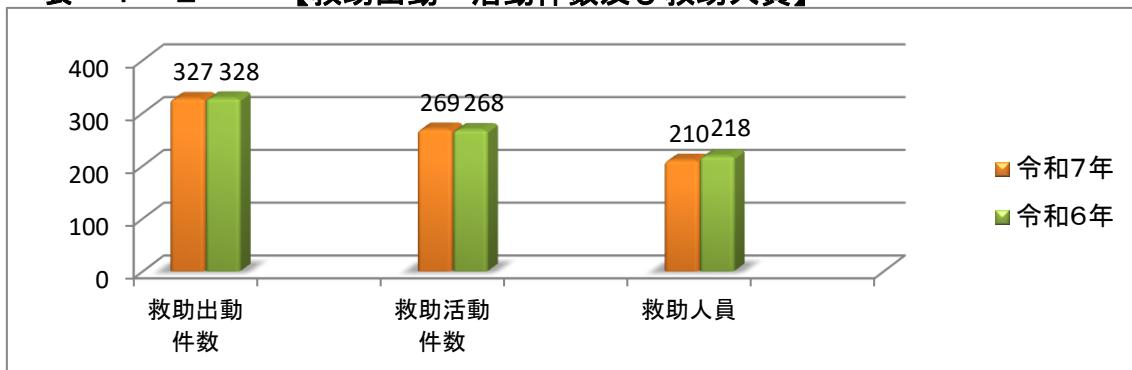
事故種別ごとの救助出動件数をみると、建物等の事故が多く発生しています。

表－1－1 【前年との対比】

区分	令和7年	令和6年	増減
	(A)	(B)	(A)-(B)=(C)
救助出動件数	327	328	△ 1
救助活動件数	269	268	1
救助人員	210	218	△ 8
出動人員			
救助隊専任	1303	1344	△ 41
救助隊兼任	47	86	△ 39
消防隊	1421	1363	58
救急隊	981	1001	△ 20
火災			
建物	5	2	3
建物外	0	0	0
交通事故	28	26	2
水難事故	1	2	△ 1
風水害等自然災害	0	1	△ 1
機械による事故	1	1	0
建物等による事故	180	174	6
ガス及び酸欠事故	3	1	2
破裂事故	0	0	0
その他事故	109	121	△ 12

※ △は減少を示します。

表－1－2 【救助出動・活動件数及び救助人員】



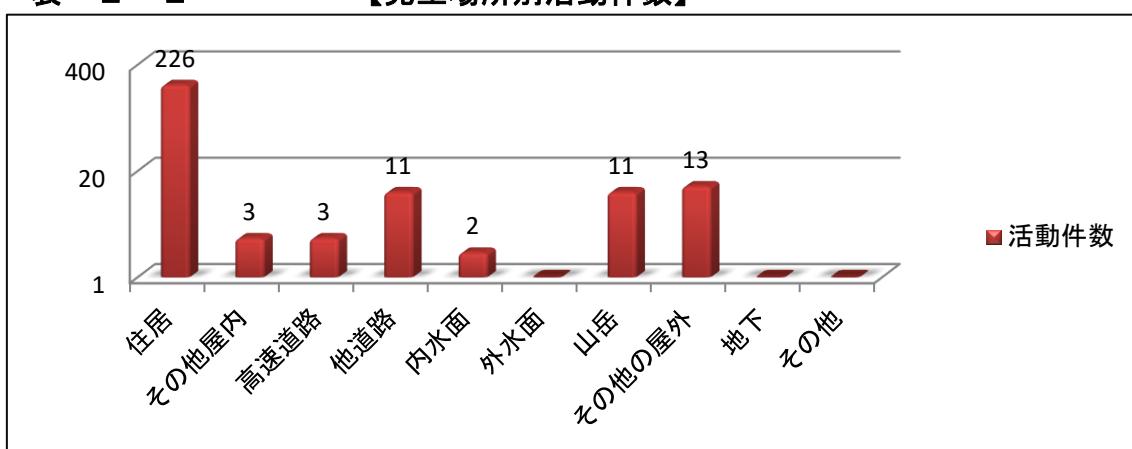
2 発生場所別活動件数・救助人員状況

発生場所別活動件数及び救助人員は表－2－1、表－2－2のとおりとなってい
ます。

表－2－1 【発生場所別活動件数・救助人員】

区分		活動件数 救助人員	屋 内		屋 外				地下	その他の屋外
			住居	その他屋内	道路	水面	山岳			
火 災	建 物	5 2	5 2							
	建 物 以 外									
交 通 事 故		15 16			3 12	10			2 1	
水 難 事 故		1 1					1 1			
自 然 災 害										
機 械 に よ る 事 故										
建 物 等 に よ る 事 故		170 168	168 166	1 1					1 1	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故		3 1	1 1	1					1	
破 裂 事 故										
そ の 他		75 22	52 2	1		1 1	1 1	11 11	9 7	
合 計		269 210	226 171	3 1	3 3	11 13	2	11 11	13 9	

表－2－2 【発生場所別活動件数】



3 建物内生存者確認による出動状況

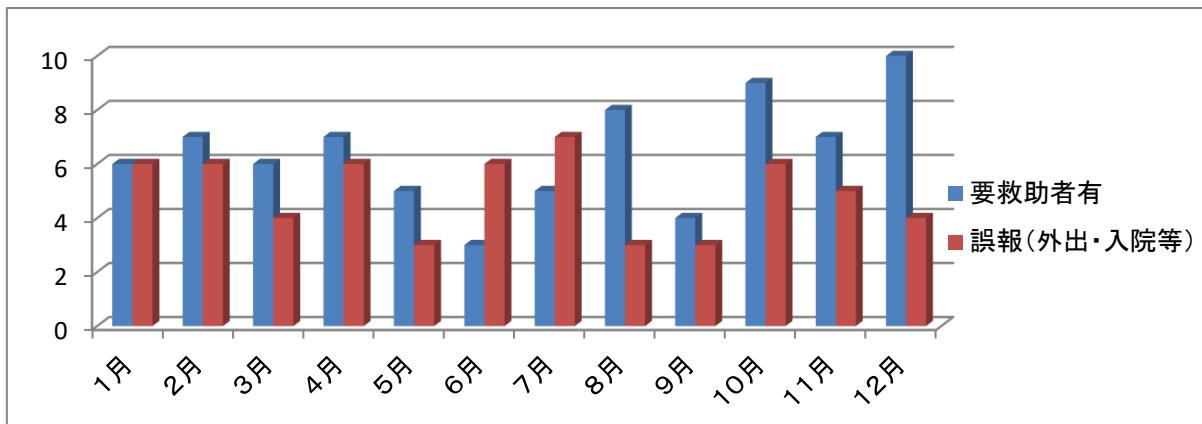
令和7年中の救助出動327件のうち、建物内生存者確認による出動は136件で、41.6%を占めています。

表－3－1 【建物内生存者確認による月別出動件数1】

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
要救助者有	6	7	6	7	5	3	5	8	4	9	7	10	77
誤報(外出・入院等)	6	6	4	6	3	6	7	3	3	6	5	4	59
合計	12	13	10	13	8	9	12	11	7	15	12	14	136

※ 誤報とは外出、入院等で不在の場合や、睡眠中、いたずら等を指します。

表－3－2 【建物内生存者確認による月別出動件数2】

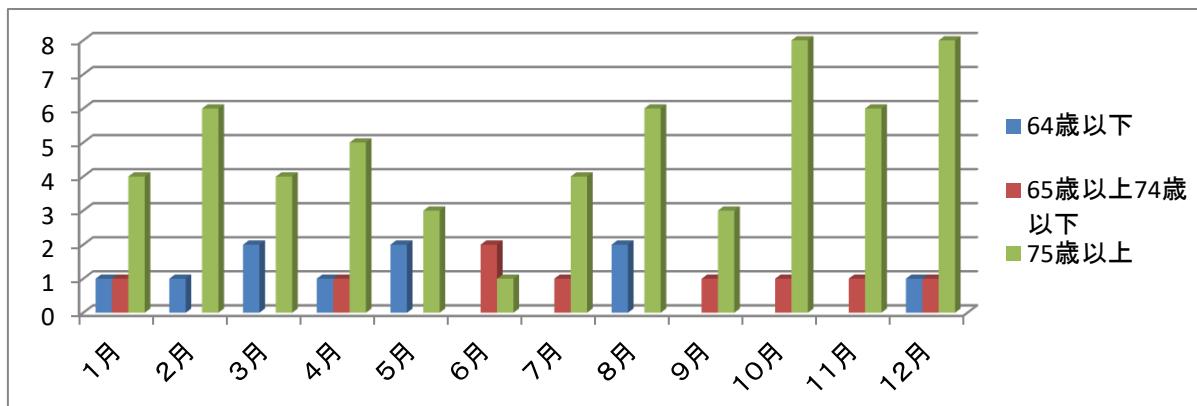


表－3－3 【要救助者のうち、高齢者及び後期高齢者的人数1】

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
64歳以下	1	1	2	1	2			2			1	10	
高齢者(65歳以上74歳以下)	1			1		2	1		1	1	1	1	9
後期高齢者(75歳以上)	4	6	4	5	3	1	4	6	3	8	6	8	58
合計	6	7	6	7	5	3	5	8	4	9	7	10	77

※ 要救助者のうち、高齢者及び後期高齢者の占める割合は87%です。

表－3－4 【要救助者のうち、高齢者及び後期高齢者的人数2】



表－3－5 【死亡者数のうち、高齢者及び後期高齢者的人数】

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
64歳以下	1		1	1	1			2				1	7
高齢者(65歳以上74歳以下)	1			1		2	1			1	1	1	8
後期高齢者(75歳以上)		3	2	4	1		4	3	1	2	3	2	25
合計	2	3	3	6	2	2	5	5	1	3	4	4	40

※ 死亡者数のうち、高齢者及び後期高齢者が占める割合は 82.5%です。

1



令和 7 年

火災・救急・救助概要

発行 消防本部 部隊管理室 警防課

